

平成24年10月17日

会員団体代表者 様

一般社団法人大阪卸商連合会
会長 井澤武尚

「第3回」 経営セミナーのご案内について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、当連合会の事業運営にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
標記について、別紙のとおり開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。
標記経営セミナーは、危機管理として何を考えるべきか、何から始めるべきか、また「事業継続計画」を策定すれば安心できるのかといったことについて理解を深めていただくと同時に社員の意識改革や事業活動のプロセスについて講義していただきます。ご多忙の折、誠に恐縮ですが皆様方の積極的なご参加を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成24年11月19日(月) 別紙ご案内のとおり。
2. 会 場 大阪産業創造館 大阪府中央区本町1-4-5
5階研修室A
3. テーマ等 別紙 ご案内のとおり。
4. 申込期限 平成24年11月15日(木)
ただし、定員になり次第締め切らせて頂きます。
5. 申込み先 別紙、申込書に必要事項を記入のうえ、FAXまたは
郵送にてお申込み下さい。
※問合せ・参加申込書送付先
一般社団法人大阪卸商連合会 事務局(担当:角野)
〒541-0053 大阪府中央区本町1-4-5 大阪産業創造館12階
TEL: 06-6271-7456 FAX: 06-6261-5077

今日から始める危機管理

危機管理を通して組織を強くする

予期せぬ自然災害による業務機能の停止、国際情勢による海外取引の停止、集団感染によるパンデミックなど企業の外から突然迫りくる危機だけでなく、情報セキュリティ対策の欠如による機密データの流出、社員のコンプライアンス意識欠如による企業信頼の失墜など企業の中に潜む危機への対応(用心)も現代の中小企業には強く求められています。

このような中、取引先からの要請により「事業継続計画(BCP)」の策定に取り組んでいる中小企業も少なからずあります。

今回のセミナーでは、危機管理として何を考えるべきか、何から始めるべきか、また「事業継続計画」を策定すればそれで安心できるのかといったことについて理解を深めていただくと同時に、危機管理を通して、社員の意識を変え、全社一丸となって事業活動に取り組んでいくプロセスについてご案内いたします。

参加無料

【参加対象者】

中小卸売業の経営者、経営後継者、経営幹部

プログラム

11月19日(月) 18:00~20:00

今日から始める危機管理

- ・認識すべきリスク
目に見えないリスクを「見える化」する。
- ・まず何を考えるべきか
業務の重要度や被害の重大性を共有する。
- ・時間をかけてやるべきこと
危機管理を通して組織を強くする。
- ・危機管理から事業継続へ
事業が中断しないように戦略を考えておく。

中小企業基盤整備機構
戦略的CIO育成支援
チーフアドバイザー
杉浦 司

11月19日(月) 20:00~20:15

卸売業の経営革新支援事業案内

- ・講演でお伝えした卸売業の危機管理能力、組織能力向上をサポートする
中小機構のサポート事業についてのご案内

中小企業基盤整備機構
経営支援担当

講師

京都府警、大和総研を経て、杉浦システムコンサルティング・インク設立。関西学院大学大学院経営戦略研究科(ビジネススクール)講師。ファーストリテイリング、ソフトバンク社、他多数の中小企業のシステム開発、マーケティングコンサルティング、CIO育成で活躍中。「ITマネジメント」、「情報セキュリティマネジメント」等著書多数。中小機構のアドバイザーとして大阪地区の卸売業の革新支援も担当。支援企業からの評価は高い。

